

令和6年度 第2回上下水道事業運営審議会 議事録（要旨）

- I 日 時 令和7年2月18日(火) 午前10時00分～
- II 場 所 合志市役所2階大会議室
- III 出席委員 出口増穂会長、丸内三千代副会長、永清和博委員、渋谷由佳利委員、青木栄真委員、荒川福江委員、藤好清一委員、坂本夏実委員、岩本信行委員、大島泉委員、野口和子委員、古和賢二委員、川上康治委員
- IV 欠席委員 村上香織委員、川俣久美子委員
- V 事務局 衛藤水道局長
水道課：緒方課長、西本班長、石原主幹
下水道課：大塚課長、坂田班長
- VI 会議次第
- 1 開会
 - 2 局長あいさつ
 - 3 会長あいさつ
 - 4 議事録署名委員の指名（※名簿順で指名）
 - 5 説明
(1) 合志市水道事業経営戦略について
 - 6 その他
 - 7 閉会

会議録（要旨）

次第	発言者及び答弁者	内容
1 開会	事務局	只今から令和 6 年度第 2 回合志市上下水道事業運営審議会を開会します。
2 局長挨拶	水道局長	皆様、ご承知の通り埼玉県八潮市の下水道管の破損とみられる道路陥没事故が起きています。本市も県から緊急調査の依頼がありました。対象が内径 2,000mm 以上の函渠ということで合志市内では対象ありませんが、800mm 以上のヒューム管を洗い出しまして、約 1km を 2 月 12 日に緊急点検したところ、異常なしでした。それと水道関係では、宇城市等で有機フッ素化合物の暫定基準値を超えた数値が出た状況でもございます。今回は議題が水道事業経営戦略についてということでお願いしております。慎重審議の方よろしくお願ひしたいと思います。
3 会長挨拶	会長	事務局の方から説明いたしますので、説明後に分からないことがありましたら質問等を受けますので、よろしくお願ひいたします。
4 議事録署名委員の指名	事務局	今回は藤吉委員にお願いしたいと思います。
5 説明	会長	(1) 合志市水道事業経営戦略について事務局の方から説明をお願いいたします。
	事務局	<p>合志市水道事業経営戦略について、A 3 の概要版で説明させていただきます。</p> <p>まず、『経営戦略の位置付け』ですが、左側の一番上に書いてあります本経営戦略は、本市の最上位計画である『合志市総合計画』と安全・強靱・持続についての施策を取りまとめた『合志市水道ビジョン Ver. 2』を下支えする計画のひとつとなります。『合志市水道事業アセットマネジメント』を包括的に取りまとめ、水道事業会計の財政計画と照らし合わせながら、施設の老朽化等に対応した具体的な取り組みを実践することとしています。</p> <p>位置付けの右側になります、『経営の基本理念と 3 つの基本方針』ですが、本経営戦略策定にあたり、本市の総合計画における「水の安定供給」を実現できるための経営の基本理念と 3 つの基本方針を下記のとおりとします。</p> <p>【基本理念】経営環境の変化に適切に対応し、知恵と工夫により業務の改善を図り、市民に安全で快適な水道サービスを持続的・安定的に提供します。</p> <p>【3 つの基本方針】</p> <p>(1) 健全経営の持続に努めます。</p> <p>(2) 計画的な施設更新を行います。</p> <p>(3) 危機管理体制の強化に努めます。</p> <p>左側の下になります、合志市の将来の人口及び給水量の見通しですが、合志市の人口は、令和 16 年度末時点で約 74,800 人に達する見込みとなっており、その後も上昇傾向が予想されます。給水人口についても、将来の予測では今後 10 年間で約 6,000 人、年間約 600 人以上が増加する見込みとなっています。</p> <p>給水人口の増加に伴い、令和 7 年度は 1 日平均給水量 21,185 m³/日で、10 年後の令和 16 年度では、1 日平均給水量は 22,384 m³/日程度まで増加する見込みです。同様に令和 7 年度の 1 日当り有収水量は 17,514 m³/日で、10 年後の令和 16 年度には 18,947 m³/日に増加する見込みです。</p> <p>有収水量の増加は、給水収益の増加につながり、水道事業の経営に良い影響を与えますが、給水量の増加を考慮した水道施設の整備や投資を行う必要があります。</p> <p>なお、毎年管路更新工事を行うことで、有収率の向上を図ります。</p> <p>右側の上、年間有収水量、年間料金収入の推移は将来の人口増加に伴い、有収水量及び料金収入についても増加傾向が見込まれます。</p> <p>年間の有収水量の推移については、今後 10 年間で約 52 万 m³増える見込</p>

会議録（要旨）

次第	発言者及び答弁者	内容
		<p>みです。料金収入についても有収水量と同様に増加傾向が見込まれ、同期間で約 6 千 570 万円の増収が予想されます。</p> <p>経営の健全性を示す指標となる「経常収支比率」の将来推移では、料金収入は増加しますが更新事業費用の増加に伴い、減価償却費及び支払い利息の増加、また人口増加による給水量の増加に伴う動力費の増加により、経常収支比率は減少していき令和 16 年度には 100%を割り込むことが予想されます。</p> <p>また「企業債残高対給水収益比率」については、更新事業費用の増加に伴い企業債発行額が増加し、企業債残高も増加する見込みです。</p> <p>これら 2 つの指標から、将来水道料金の値上げの必要性があると考えられます。</p> <p>右下の将来の必要となる建設投資額は将来の人口増加が見込まれる中で、既存施設の増強や耐震化更新についての建設投資が必要となります。</p> <p>新たな給水区域拡張などの新規整備事業の計画はありませんが、施設の老朽化が進むことが予想され、施設の健全性及び耐震性の確保が重要となります。</p> <p>また人口増加に伴い給水量が増加することから施設の増強も必要となり、今後 10 年間で約 92 億円の建設投資を見込んでいます。</p> <p>これらの建設投資を行うことにより、施設の健全性は向上していき、安全な水を安定的に供給することが可能となり、災害時においても耐える施設の構築が可能となります。</p> <p>概要版の説明を終わります。</p> <p>次に A 4 版の財政計画（収支計画）を説明します。</p> <p>左上に様式第 2 号（法定用企業・収益的収支）から、収益的収入は料金収入の増加が見込まれるため、令和 16 年計画まで増加傾向となる見込みです。</p> <p>また、収益的支出は減価償却費、企業債の支払い利息が増加するため、こちらも増加傾向となる見込みです。</p> <p>収益的収入から収益的支出を引いた、当年度純利益は令和 15 年度計画までは黒字ですが、令和 16 年度計画では赤字となる見込みです。</p> <p>今後、世界情勢や物価高騰などで、動力費・材料費などの数字が変わることがあるかもしれません。</p> <p>次に、左上に様式第 2 号（法定用企業・資本的収支）です。</p> <p>左の欄から資本的収支資本的収入の 1. 企業債ですが概要版でも説明しましたが、今後 10 年間で約 92 億円の建設投資を見込んでいます。</p> <p>これは、老朽化した施設の改修や人口増に対応するための増強などを計画しており、そのためには多額の資金が必要となりますので企業債の借り入れを令和 7 年度から始めます。</p> <p>下から 3 段目、資金残高は企業債借り入れを行うことで、残高が幾分か残りますが、一番下の企業債残高は右肩上がりに増えていくことになります。</p> <p>しかしながら水道の安定供給には、施設の健全化が重要ですので、更新・増強を順次行ってまいります。</p> <p>本経営戦略は、国からの指導で 5 年ごとの見直しをすることになっており、今後も収支状況を考慮しながら水道料金の値上げも検討すべき時期が来るかと考えております。</p>
委員		料金徴収率は 100%ですか。
事務局		100%ではないですが、90%以上です。
委員		人口について懸念する部分があって、毎年 600 人ぐらいが増加して 10 年間で 6,000 人ということで、相当な人数ですが、今後も安定供給できますか。

会議録（要旨）

次第	発言者及び答弁者	内容
	事務局	今後 10 年間で建設投資額は約 92 億円を見込んでおり施設の改修と、更に水量が豊富な配水池から市の中央の方に送水するといった改築更新をしながら人口増加に対応していく予定です。
	委員	最終的には企業債残高が約 61 億円ありますよね。水道料金の値上げをしなければならないという説明がありましたが、いつぐらいに値上げとなるのかを聞いておきたいと思います。
	事務局	この計画に関して、5 年ごとの見直しをしており、今回が初めての見直しになります。また 5 年後に経営戦略の見直しを行いますので、その時点でこの赤字が前倒しになるのかなどを踏まえ料金見直しが必要かどうかを検討していく必要があると考えています。
	委員	経営戦略で料金等を見直して収支を 0 に近づけるようにするというのでしょうか。
	事務局	ゼロに近づけるより長期間、黒字が確保できるような料金改定を想定しています。黒字は水道事業では施設の改良と更新等の貴重な財源となります。よって、こちらが赤字になりますと、施設の更新等ができなくなるし、企業債という借金を借りながらも投資しているその借金返済が不可能となりますので、施設の健全性を測るイコール経営の健全性を図るイコール黒字を継続させるということが必要となります。
	委員	令和 7 年度から起債をして施設更新等をしていくという事でしたが、具体的にはどのような事をしていくのか。
	事務局	水源地の水の量が豊富な合生配水池から御代志配水池に送水管で送水できるようにすることで、御代志配水池の配水区域を拡張して人口増加等に対応します。それから老朽化が顕著な須屋配水池の改築等を予定しています。
	委員	企業債残高について令和 5 年度実績が 2,487,302 千円、令和 16 年度計画が 6,064,311 千円であり約 2.43 倍になります。これに対し、支払利息は約 2.12 倍になるのですが、普通であれば増加率は同じくらいになると思います。長期金利も上昇傾向にあり、支払利息はもう少し大きくなるのではないかと思いますかと思いますがどうでしょうか。
	事務局	金利の予測はなかなか難しいです。また、他にも電気代、人件費、材料費も、どの程度変わっていくのか予測が難しいため、5 年後の経営戦略見直しの際に改めて精査していくことが必要と考えます。
	委員	今現在の給水人口が 66,077 人で、令和 16 年度 72,062 人と予測してあるのですが、どの地域の開発を見込んでいるのか、市街化区域を広げるのか等の予測の根拠があればお聞かせいただきたいです。
	事務局	どこが開発されるかといった条件を付けているのではなく、数パターンの伸び率を比較して人口の予測を立てています。
	事務局	過去 10 年間でどれだけ伸びてきたかという実績推移値を基に時系列傾向分析という将来 10 年間で予測する方法を採用しています。更に各市町村で人口ビジョンという将来の人口の増え方について示されたものがありますので、それも加味しながら決めています。正直、今の合志市の人口増加率は他に見られないものですから難しいところですが、そのように設定をしています。
	委員	過去 10 年間の実績を元にして計算しているという説明でしたが、過去 10 年間と今後 10 年間では全然違うと思います。私が最初に質問した長期金利にしても同じです。収支計画が甘いように感じます。
	委員	合志市の人口推計は地震前と後で実施しているが、後の方が人口増加率が高くなっています。それで T S M C が来てからはまだ人口推計を実施していません。だからもう 1 度実施すれば人口増加率は更に高くなるはずですが。そういった事から人口増加率の見直しも 5 年に 1 回ではなく、臨機応変な見直しが必要と考えますがいかがでしょうか。
	事務局	経営戦略は 5 年毎の見直しと言いましたが前倒しもできますので、どこかで人口増加率が急激に変わったのであれば臨機応変に対応します。

会議録（要旨）

次第	発言者及び答弁者	内容
	委員	令和7年度は10年に1度の都市計画マスタープランの見直しがあり、おそらく人口増加の見通しが変わってきます。また、見直しは10年に1度が基本ですが、合志市は変化が急激であるため5年に1度の見直しを県から許されるのではないかという話を聞いておりますので、見直し後のマスタープランの人口推計や、どこの地域が新たに開発できるようになるかなどを含めてぜひ参考にしてください。
	事務局	人口増加の見込みについては、常々確認していくべきだと考えます。また、人口増加に伴い施設の能力が足りるのかや動力費等の推移も含め適宜チェックしていく必要があると考えます。諸条件を定期的にチェックして計画に反映していく必要があると考えます。
6 その他	会長	他にお尋ねの点はありませんでしょうか。
	委員	昭和48年頃、永江団地を造成する時、永江不動産の社長が団地中央バス通りの下に直径が約2mの下水道管が設置されているのを見せてくれました。この下水道管は破損や陥没の恐れがないか点検してあるのでしょうか。
	下水道課長	合志市内の下水道の污水管につきましては最大の直径が1.2mで元気の森公園の近くの堀川を横断しており延長は25m程です。コンクリート製ヒューム管が腐食しやすいと言われており耐用年数は基本的に50年ですが、八潮市のは40年くらいで今回の損傷が起きたと言われております。合志市の場合も40年が過ぎている管があり、令和5年度までにヒューム管について管内カメラ調査を実施しております。その際、腐食が見られた部分は管更生を計画的に進めています。今回ご指摘の管については雨水管だと思われそうですが、現地等の確認を行います。
	委員	水質検査の結果について、ホームページでの公表をされていますが、広報には掲載されてないですね。半導体関連企業が来たことによって、水質がとても心配だというのが住民の本音です。ホームページはなかなか見ませんので、広報誌で、年に1回周知をしていただくと良いと思います。
	事務局	以前、広報誌に有機フッ素化合物のみを掲載しましたが、水質検査の項目は最大58項目ありますので、24水源地の結果を広報誌に載せるにはかなりボリュームが必要です。よって、現在、水質基準を超過している項目はありませんので、工夫して異常はないという簡単なお知らせをするようにします。
	委員	問題ありませんでしたというだけでも広報誌で見ることによって、基本理念の安心安全が実感できますので、よろしくお願いします。
	委員	私が区長をしている若原区は開発が多く、上下水道の引き込み後の舗装復旧の擦り付けが悪く、車が通ると家が揺れて寝られないという批判が結構多いです。よって、業者に振動が起きないように擦り付けをするよう指導してほしいです。また、何かの本で読みましたが水道の検針について、毎月でなく2ヶ月に1回としている市町村があります。合志市もそうすることにより、検針員の収入増と経費の削減が図れると思いますがいかがでしょうか。
	事務局	合志市が毎月検針をしている理由の一つとして漏水を早期に発見する目的があります。また、検針を2ヶ月に1回にすると、検針回数が減りますので、検針員の収入は逆に減ってしまいます。次に、開発の上下水道引き込みによる振動対策ですが、道路管理者が復旧基準を決めていますので、その辺は道路管理者と協議できたらと考えています。
7 閉会	事務局	これをもちまして、令和6年度第2回議合志市上下水道事業運営審議会を終了させていただきます。

（終了）